

学ぶ力と意欲を備え、ともに高め合う教育の創造
学校だより



令和 2. 5. 21・22

朝来市立和田山中学校 <http://www.asago-city.ed.jp/wadayama-jhs>

自立・敬愛・創造



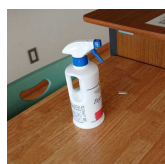
正面玄関ビオラ

学校再開に向けて、笑顔再会！

6月1日の学校再開に向けて、登校可能日が3日間できることになりました。登校日は各クラスを名簿の前半と後半に分け、各クラス半数の分散登校となりました。感染のリスクを少しでも抑えるための方法として、理解をお願いします。今後は、状況を見てクラスの人数を増やし、通常の登校へ段階を追って取り組むこととなります。

この間、保護者の皆様には大変お仕事等苦難な状況の中、生徒の生活についてご配慮いただきありがとうございました。状況が変わるたびにメールで連絡や、また、各方面からのアンケートへの回答など、素早く対応していただき感謝いたします。特に登校可能日を設けることには、約2割の方が不安を持っておられますので、学校では以下のことを実施したいと思います。

- ・登校前後、各教室や各器具、ドア等の消毒
- ・登校時、生徒玄関での手指消毒
- ・各トイレや各教室等への手指消毒設置
- ・毎朝の検温チェック
- ・マスクの着用（予備の持参）
- ・教室の換気
- ・人との間隔 1 m 以上



消毒容器



机と机の距離を1m以上に

以上の取組を行いますが、感染リスクが全くゼロになることは不可能です。このような感染防止対策を行いながら、生徒の生活リズムを整え、生徒の心身のケアや学習支援に取り組むしたいと思いますので何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

◎職員による生徒応援メッセージの様子

5月14日から17日にかけて、朝来市内の各小中学校から児童生徒への応援メッセージがCATVで放映されました。各グループが30分に編集されていました。少しでも子どもたちの力になればと感じております。早く通常の生活に戻れることを願います。



和の志をもって、願いを成す

生徒のみなさんへ (5/21・22 校内放送集会でのメッセージ)

みなさんの元気な姿を見てとても安心しました。4月15日から今日まで、家庭での生活になりましたが、みなさんは、どんな日々を過ごしましたか。自分から何もしなければ、ただ1日が流れていくだけ。自分から何かをしなければ、前に進むことはできなかったのではないのでしょうか。



通用門横アネのバラ

先生たちから、電話や課題の配付などをしましたが、特に大きな変化は聞いていません。むしろ、学年通信や学級通信に書かれていることを読むと、多くのみなさんが、自分でしっかりと考え行動できていたと思います。まずそのことに感謝します。しかし、今の状況が不安になっている人もありますので、登校した時には先生たちに悩みやいろいろなことを遠慮なく相談してください。それから、課題については、いつするかは自分の意思であり意欲しかないと感じたはずです。自らの力で、自らが動くことに大きな意義があり、それが将来への力となります。

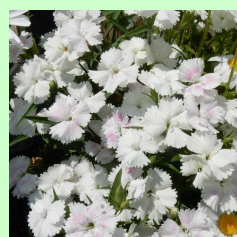
この臨時休校中にみなさんが学んだこと、私たち大人が学んだことは非常に大きいと思います。これからの社会は変化が激しい、先の見えない厳しい時代です。この時代を生き抜く力、どんなに社会が変化しても生きていく力をつけていくため、また、この先、新たなウィルスが現れても闘っていく力をつけていくために、みなさんと一緒に今を乗り越えていきましょう。

私は、今回の休校の中で、日々の健康を維持するための生活習慣や態度、ストレスや不安をいかに克服するか、人と人がつながる安心感、そして、私たちの生活を支えてくれている人々の存在などを改めて感じ、学び、感謝することができました。

今後も、感染リスクはゼロにならない状況ですが、みなさんも、今できること、これからできることに、笑顔で前向きに、ポジティブに取り組んでいきましょう。

◎休校時課題配布に向けて

1週間に1回の課題配布回収と、電話による連絡をしてきました。上手く受け渡しができたでしょうか。何か不都合があれば、学校まで連絡をしてください。



正面玄関ナデシコ

